

平成20年の年頭挨拶



(株)第一コンサルタンツ社長
右城 猛

皆さん、あけましておめでとうございます。平成20年の年頭にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

私が社長に就任して半年が経ちました。まずは、この間の皆さんのご協力に対して感謝申し上げます。12月末で平成19年度の受注目標の7億5千万円をほぼ達成することができました。本当にご苦労さまでした。

さて、昨年を振り返ってみますと、偽装に明け暮れた一年であったように思います。食品偽装が次々と発覚しました。社保庁の年金問題など行政の偽装も明るみになりました。建設関係では円筒型枠の強度偽装がありました。

偽装問題は他人事ではありません。今から約30年前に第一コンサルタンツは測量偽装をしています。数年前には設計業務でミスを出し、お客様に随分と迷惑をおかけしました。今このようなミスを出せば致命的です。

ミスと偽装とは基本的に異なりますが、それは紙一重です。照査のお金を戴いておきながら照査をしなかったら偽装です。成果品は十分に照査して提出するようにしてください。

県内の大きな話題としては、香長建設、四国土建といった高知県を代表する建設会社の倒産が相次ぎました。政府は、平成20年度の公共事業費を3.1%削減するという方針を固めています。このため建設業界には今年も大変厳しい1年になると思います。

しかしながら、昨年あたりから風向きが少し変わってきました。日本世論調査協会が昨年12月に実施した調査によりますと、公共事業を増やすべきとの回答が34%に達しています。7年前に小泉内閣が構造改革をスタートさせたときには4%でした。30%も増えています。

昨年、能登半島地震、新潟県中越沖地震が起こりましたが、日本列島は活動期に入っていますので地震は今後も頻発します。地球温暖化の影響で水害や地盤災害も多発することでしょう。その一方で、道路や橋梁といった社会資本が老朽化しています。まもなく補修や更新の時期がやってきます。

今後、防災、維持管理に関係した仕事が増えることは明白です。これが建設業にとって追い風になると考えられます。

今から20年前にも風が吹きました。四全総(=第四次全国総合開発計画)です。多極分散型国土の構築を目標に多額の公共投資が行われました。そのとき第一コンサルタンツは受注額を一気に3倍に伸ばしました。四国建設コンサルタントやエイトコンサルタントなどはさらに大きく飛躍しました。

風が吹いたとき、それに乗ってどれだけ高く舞い上げられるかは、風向きを読んでどれだけ準備

をしているかにかかっています。

これからの風向きは防災と維持管理です。対象物は道路、橋梁、河川、トンネル、下水道などいろいろあります。調査、点検、評価、補修に関して高度な技術を持ち、魅力ある提案をできる企業が風に乗って飛躍することになると確信します。

現在、第一コンサルタンツは県内で一番とされています。しかし技術力に関しては、そうとは言い切れません。

技術士の数で比較しますと、当社は6人ですが、構営技術コンサルタントは9名、西日本科学技術研究所は12名です。地積測量、補償調査の技術力にしても県下で一番と切り切ることはできないと思います。

第一コンサルタンツが飛躍するには、社員一人一人に成長していただかなければなりません。皆さんが、それぞれ1年間の目標をしっかりと定め、強い意志でそれを実現するように努めてください。

第一コンサルタンツは、5年後の平成25年には創立50周年という大きな節目の年を迎えます。私は、それまでに第一コンサルタンツを四国一にすることを夢見ています。

平成18年度における第一コンサルタンツの売上高は9億5千万円です。2倍にすれば四国一になれる。実現に向けて、全員が一丸となって頑張りましょう。

私は社長就任の所信表明で「3つの重点課題」を申し上げました。組織として機能する仕組み作り、スキルアップの達成度を評価する仕組み作り、利益を出す仕組み作りです。今年は、この課題に対して積極的に取り組む決意をしています。

そのためのキーワードは「破壊と創造」です。これまで必要とあって当たり前に来てきたことが今でも本当に必要なのか、ベストとあって来てきたことが本当に正しかったか、これまでのやり方が時代の変化に適應できているのか、もう一度冷静かつ客観的に見つめ直し、会社の発展に必要なでないものや効果が出ていないものは思い切って改めるつもりです。

進む方向を変えることは、惰性で進むよりもはるかに難しく、大きなエネルギーを必要とします。皆様のご協力を宜しくお願いいたします。

私は、国土交通省や高知県と当社との関係をこれまで以上に密接なものにする必要があると考えて参りました。いろいろな方からご尽力をいただき、4月から事務所長経験者あるいはそれ以上のクラスの方に入社していただける目途が経ちました。当社の受注拡大に大きく貢献していただけることと思います。

今年は、第一コンサルタンツが四国一に向けてスタートする記念すべき年です。皆さん、一人一人がその立役者になるように、一層の奮起をお願いします。

最後になりましたが、皆様のご健康とご多幸を心から祈念いたしまして、私の年頭の挨拶とさせていただきます。